

過去の受賞者(過去10年間)

上段:テーマ
下段:受賞者

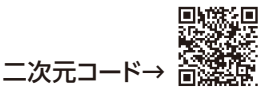
区分	芦原科学大賞	芦原科学功労賞	芦原科学奨励賞
第22回 (2014年度)	新規機能性発泡シーラントフィルムの開発と事業化	超微細加工可能な放電加工用電極材料の開発とその事業化	高い均斉度を有する省エネ・高効率な照明用反射板及びシステムの開発
	日生化学(株) 河野 博氏、赤松昌幸氏	東洋炭素(株) 齋藤 清氏、東條 純氏、伊丹弘明氏	(株)広立 瀬尾 尊氏
第23回 (2015年度)	新規化学法による希少糖含有異性化糖の生産技術の開発	基板外観検査装置「Sherlockシリーズ」の開発	土木建設用コンクリート養生粘着シートの開発と事業化
	(株)希少糖生産技術研究所 何森 健氏 香川大学希少糖研究センター 徳田雅明氏 松谷化学工業(株) 高峰 啓氏	(株)レクザム 杉原 徹氏、岡 民幸氏 前田直樹氏	(株)菊井商会 保井拓朗氏
第24回 (2016年度)	船用エンジンの世界最高水準の品質と生産効率達成技術の開発	さめきうどん用小麦品種「さめきの夢2009」の育成	油圧・空圧・電気の弱点を克服した新駆動技術(ADS)を応用した、水圧システム導入の入浴装置および各用途向け水圧シリンダの開発・製造
	(株)マキタ 船用エンジンの品質・生産効率向上プロジェクトチーム 須浪 壽氏はじめ5名	香川県農業試験場 藤田 究氏はじめ6名 本場さめきうどん協同組合 大峯茂樹氏 香川県製粉製麺協同組合 木下敬三氏	(株)ADS ムラカミ 村上康裕氏
第25回 (2017年度)	人工ゼオライトと無機化合物複合体を主成分とする重金属類吸着資材を用いた吸着層工法の開発	高速パルスマイクロ波電源の開発	安全かつ低コストの仮設栈橋工法(パラミックス工法・スパイダー工法)の開発および事業化
	(株)アムロン 藤田一平氏	四変テック(株) 技術開発部 マイクロ波電源開発グループ 日野 究氏はじめ4名	日本ジウキケンセツ(株) 松本知巳氏、松本琢巳氏 松本操一氏
第26回 (2018年度)	下水処理分野において難脱水性汚泥や低濃度汚泥に対する高性能化と処理の大容量化や安定化を可能とする汚泥脱水機「ハイブリッド型圧入式スクリープレス脱水機(ISGKV型)」の開発	自然免疫の制御技術に基づく、人の健康に資する製品の開発	立体手袋の自動縫製技術による全方位対応「耐切創・耐突刺手袋」等の開発
	(株)石垣 山下 学氏、片山雅義氏 宮脇将温氏、玉内亮介氏 三野広幸氏、犬塚充志氏	自然免疫応用技研(株) 稲川裕之氏	(有)ポルテ 竹北孝文氏、竹北昌成氏
第27回 (2019年度)	ガスパック包装に利用するバリアシユリンクフィルムの開発	工業炉用途炭素繊維強化炭素複合材料の製品開発とそれによる事業拡大	皮膚上に耐水性被膜(フィルム)を形成する外用製剤の研究開発
	大倉工業(株) 山下英之氏、銭瓶昌明氏 植松章人氏	東洋炭素(株) 町野 洋氏、尾藤信吾氏 富田修平氏	(有)日本健康科学研究センター 岩倉泰一郎氏
第28回 (2020年度)	停電不要かつ専門技術者派遣不要な受配電設備の劣化診断システムの開発	ストレッチフード包装用フィルムの開発	妊産婦の遠隔診療を可能にする「分娩監視装置iCTG」と「周産期遠隔医療プラットフォームMelody i」の開発
	三菱電機(株) 受配電システム製作所 西川哲司氏、津上友成氏 三菱電機エンジニアリング(株) 橋本大也氏、中井遼司氏	大倉工業(株) 木村浩司氏、福永秀樹氏 阪内邦夫氏、串田豊和氏 眞谷新吾氏、西尾 祥氏	メロディ・インターナショナル(株) 尾形優子氏、河野弘就氏 國方隆良氏、杉村拓也氏

過去の受賞者(過去10年間)

上段:テーマ
下段:受賞者

区分	芦原科学大賞	芦原科学功労賞	芦原科学奨励賞
第29回 (2021年度)	世界最大の加圧式船用液化ガスタンクの開発	高所での塗装作業を安全かつ効率的に行う塗装器の開発	高精度特定計量器の開発及び型式承認取得
	泉銅業(株) 村岡幸英氏、大浦幸樹氏 児山陽子氏	テクノ・サクセス(株) 遠藤 彰氏、池内宏行氏 須藤昌明氏、三好泰弘氏 佐倉弘太郎氏	宮本スケール 大岡禎昭氏
第30回 (2022年度)	電力の安定供給と再生可能エネルギー電源導入拡大に貢献する再生エネルギー制御システム(需給制御システム)の開発	スマート保安実現に向けたモータの劣化診断機能の開発	迅速な義肢提供と義肢装具士業務の省力・効率化に向けたBTOモバイルシステムの開発
	四国計測工業(株) 平尾成良氏、村尾信夫氏 大野美加氏、横山卓幸氏 横田直人氏	三菱電機(株) 受配電システム製作所 宮内俊彦氏、安原裕登氏 三菱電機エンジニアリング(株) 竹内紀夫氏	ケイ・タス(株) 北野光邦氏
第31回 (2023年度)	スマートフォン・半導体機器の高機能化に貢献する新規樹脂硬化剤の開発	中東の砂漠で働くソーラーパネル清掃ロボットの開発	鉄筋結束用省人・省力化ロボット「トモロボ」の研究開発
	四国化成工業(株) 熊野 岳氏、松田晃和氏、 武田琢磨氏、奥村尚登氏、 藤川和之氏、青木和徳氏、 荒井利将氏	(株)未来機械 三宅 徹氏、森田和郎氏、 島崎朋浩氏、吉村 基氏、 藤堂卓也氏、土井一三氏、 廣瀬修治氏	建ロボテック(株) 眞部達也氏

第1回からの受賞者及び過去10年間の受賞内容については、当財団ホームページをご覧ください。
<https://www.kagawa-isf.jp/support/award/ashihara/#chapter-11>



芦原義重氏(1901年～2003年)

香川県高松市出身。香川県名誉県民。

高松中学、旧制第六高等学校を経て、京都帝国大学(現:京都大学)を卒業後、阪神急行電鉄(現:阪急電鉄)に入社。後に関西配電(現:関西電力)に移り、社長・会長・相談役名誉会長などを歴任され、黒部川開発をはじめとした電源開発に取り組まれました。

また、関西経済同友会の代表理事や関西経済連合会会長のほか、阪急電鉄や日本生命、大阪ガスなどの社外取締役を務めるなど、関西の経済界に多大な貢献をされました。

応募書類提出先・問合せ先

公益財団法人 かがわ産業支援財団 技術振興部 産学官連携推進課

〒761-0301 高松市林町2217番地16 FROM香川1階
電話 087-840-0338 FAX 087-864-6303
E-mail : sgk@kagawa-isf.jp



第32回 芦原科学賞
- 募集の御案内 -

募集期間:令和6年8月13日(火)～10月15日(火)

第32回 芦原科学賞の募集について

公益財団法人かがわ産業支援財団では、故芦原義重氏(関西電力名誉会長、香川県名誉県民)からの寄附金を基金として、県内の産業技術の高度化及び産業の振興に寄与することを目的に「芦原科学支援事業」を平成5年度から実施しております。

このたび、本事業の一環として、「第32回芦原科学賞」の表彰対象者を募集いたしますので、奮ってご推薦、ご応募いただきますようお願いいたします。

なお、芦原科学賞には、「芦原科学大賞」、「芦原科学功労賞」及び「芦原科学奨励賞」があり、これら三つの賞の表彰対象者を募集いたします。



大賞受賞者の皆様



贈呈式の様子



御来賓挨拶(池田県知事)

第32回 芦原科学賞の募集概要

1. 芦原科学賞の概要

(1) 賞の種類と顕彰内容

賞の種類	芦原科学大賞	芦原科学功労賞	芦原科学奨励賞
顕彰内容	・賞状と楯の授与 ・賞金200万円の贈呈	・賞状と楯の授与 ・賞金100万円の贈呈	・賞状と楯の授与 ・賞金50万円の贈呈

(2) 賞の表彰対象者・応募資格

賞の種類	芦原科学大賞、芦原科学功労賞	芦原科学奨励賞
表彰対象者 (要件を全て満たすこと)	①自然科学系分野の研究開発(※1)において、県内の産業技術の高度化及び産業の振興に寄与したと認められる優秀な成果を過去10年以内(平成26年度以降)にあげた個人又は研究グループ(※2) ②県内に住所を有する個人又は所在する研究グループ	①自然科学系分野の研究開発(※1)において、県内の産業技術の高度化及び産業の振興に今後寄与することが期待できる個人又は研究グループ(※2) ②対象成果物が市販されて10年以内のもの ③県内に住所を有する個人又は所在する研究グループ ④所属企業の従業員数が20名程度以下
応募資格	・所属企業あるいは所属団体等、表彰対象者と密接な関係がある組織(県内に所在するものに限る)の代表者等による 推薦(自薦不可)	・所属企業あるいは所属団体等、表彰対象者と密接な関係がある組織(県内に所在するものに限る)の代表者等による 推薦又は自薦

※1 本賞では、幅広い自然科学系分野の研究開発を対象としています。御不明な点がございましたら問合せ先までご相談ください。

※2 研究グループの場合、大学や公的研究機関の者が含まれる場合も応募可とします。

(3) 受賞者の決定

推薦(応募)があった個人又は研究グループを対象に、外部の学識経験者・有識者等で構成される2つの委員会(「技術開発等審査委員会」及び「芦原科学賞選考委員会」)で応募内容の審査(研究内容等に関するプレゼンテーションの実施及び質疑応答)を行い、受賞者を決定します。受賞者決定につきましては、令和7年1月頃に発表する予定です。



芦原科学賞選考委員会での審査の様子

(4) 賞の贈呈

県知事など御来賓を招待した贈呈式を開催し、芦原科学大賞、芦原科学功労賞、芦原科学奨励賞を授与します。

また、来場者に対して、受賞された技術や製品等を紹介します。



2. 応募方法

原則として推薦者からの推薦としますが、「芦原科学奨励賞」のみ自薦も認めます。

(1) 募集期間

令和6年8月13日(火)~10月15日(火)【必着】
(「要約書」は、**9月30日(月)**までにご提出ください。)

(2) 提出書類

賞の種類	芦原科学大賞、芦原科学功労賞	芦原科学奨励賞
提出書類	①要約書 ②推薦書 ③研究内容・研究の成果、販売実績が分かる資料等	①要約書 ②推薦書(自薦の場合は応募書) ③研究内容・研究の成果、販売実績が分かる資料等

(提出書類様式及び記載要領は、当財団ホームページ(<https://www.kagawa-isf.jp>)の「顕彰事業」-「芦原科学賞」からダウンロードしてください。)

(3) 要約書の事前提出

応募内容を事前に把握するため、「要約書」に概要をご記入いただき、当財団技術振興部 産学官連携推進課(裏面参照)へご提出ください。
[提出方法:電子メール(PDF形式の電子データ)、郵送、持参]

(4) 推薦書・応募書の提出

「推薦書」又は「応募書」の様式に必要事項を記入するとともに、研究内容・研究成果について別に資料を作成(様式自由)のうえ、当財団技術振興部 産学官連携推進課へご提出ください。
[提出方法:電子メール(PDF形式の電子データ)、郵送、持参]